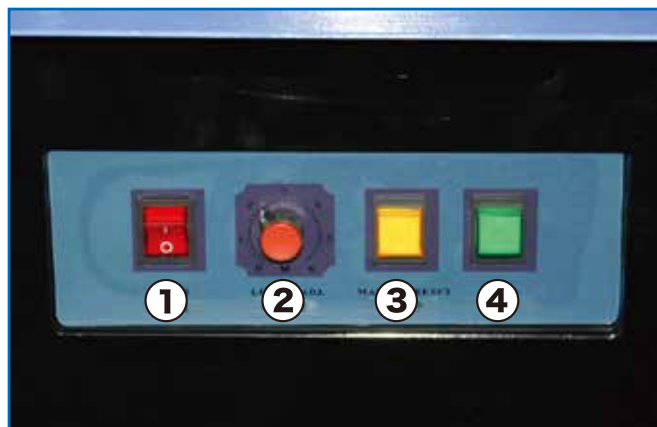


コントローラーの説明



① 電源

上がオンで下がオフです。

② バンド長さコントローラー

結束したあとの、出てくるバンドの長さを調整します。

③ リセット、カットスイッチ

手動でカットしたいときに使います。
一度押すと引くので、カットしたいところでもう一度押すとカットします。2度目を押さないとそのままぐってしまいますので注意が必要です。また、バンドがはさまった時などカムシャフトを元の位置にリセットします。

④ バンド送りスイッチ

結束するとき、バンドを伸ばしたい長さの分だけボタンを押し続けます。

はじめの準備



このストッパーをつけると締め付けが弱くなります。より強く締め付けたいときは取り付けないでください。

①まず、台のふたを開け、左角の工具入れの中身を出します。



②ふたの右側の押さえをつける位置を確認します。



③一旦ふたを閉じ、金具を通します。



④再びふたを開け、ねじを付属のスパナでしっかりと固定します。

PPバンドの通し方

PPバンドを出し入れするときは電源を切ってから行ってください。



①はじめに正面から見て左側のふたを開けます。



②中の黒いロール受けを取り出します。



③プラスチックの留め金が付いている方を上に向け、時計まわりに回して外します。(逆ネジ)



④矢印のシールにの方向を確認しながら、バンドを置きます。



⑤はずしたふたをかぶせ、プラスチックの留め金をつけます。留め金が左側に来ていることを確認しながら、元の位置に戻します。



⑥バンドの先をとり、奥に1メートルくらい引っ張ります。



⑦反対側のふたを開け、上についている2つのローラーの内、奥側の上を通します。



⑧次に、手前側のローラーの下を通します。このとき上下を間違えないように気をつけます。



⑨ふたを閉めて、外にバンドを出します。そのまま上の差込口に差し込みます。



⑩台の部分のふたを上を開け、中を確認します。



⑪内部のシーラー部分から、バンドが出てきたらOKです。



⑫白いふたを閉めて、バンドを取り出せば、完成です。

熱量の調節

PPバンドの厚みによって、接着部分の熱量の調節が必要な場合があります。



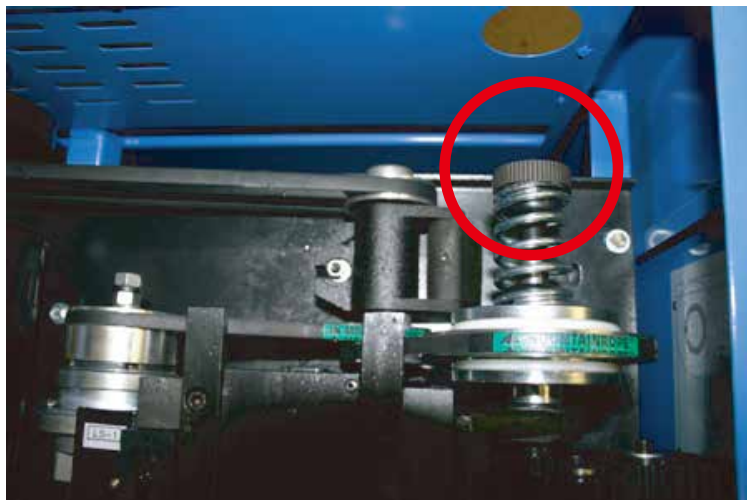
①本体の天板を開け、左手前にあるBOXのふたも開けます。



②BOX内の左端にある、荷津量調節つまみをまわして、調節します。1から10まで数字がありますが、通常は6前後が適温です。

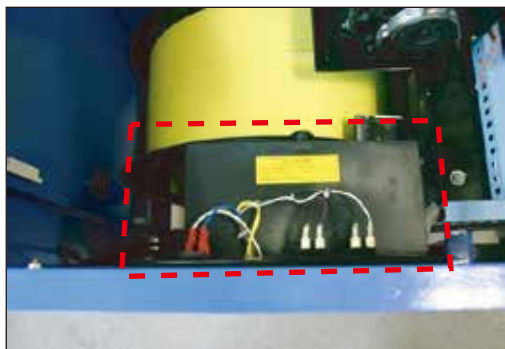
結束の強弱の調整

きつく縛るとき、軽く縛るときの強弱を調整できます。



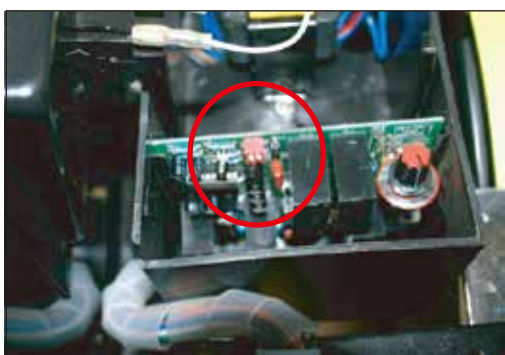
本体の天板を開け、本体右端のスプリングの付いた歯車（円で囲まれた部分）が、結束力の強弱を調整します。より強く結束したいときは時計回りに、結束力を弱めたいときは反時計回りにまわします。初期状態では、芯のシャフトと、平ぐらい（適正位置）になっています。調整するときは電源を切ってから行ってください。

圧着時間、セルフタイマーの調節、ヒューズの交換



本体のふたを開けてカバーを外します。

圧着時間の調節



圧着時間の長さを調整するスイッチです。



きつく縛る場合は1、2
とも上に上げます。

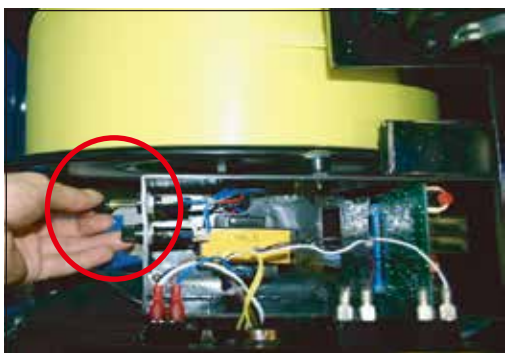


軽く縛る場合は1、2
とも下に下げます。



通常は1を上、2
を下にします。

ヒューズの交換



ヒューズはこの部分のセットされています。
ヒューズが切れてしまった場合は予備のヒューズが
付属していますので交換してください。

結束の仕方



電源を入れます。

結束を開始する前に接着部分が温まるのを約20から30秒待ってください。



ストッパー部分に荷物を合わせます。



バンドの先端を持ち、バンドを入れる穴に入れます。
すばやく、そして奥まで差し込んでください。



自動でバンドを締め、カットされます。
バンドに指を挟まれないようにご注意ください。